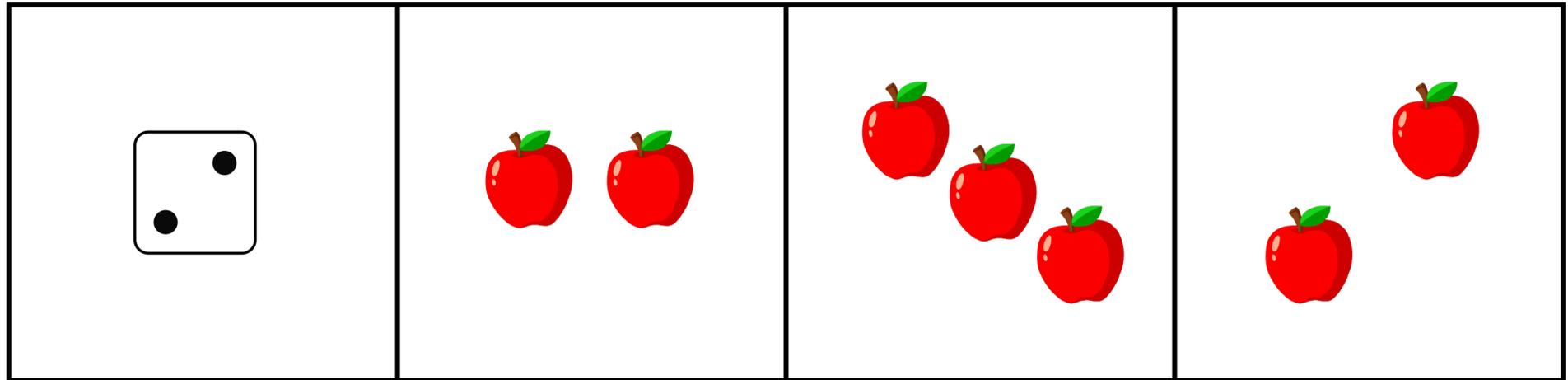


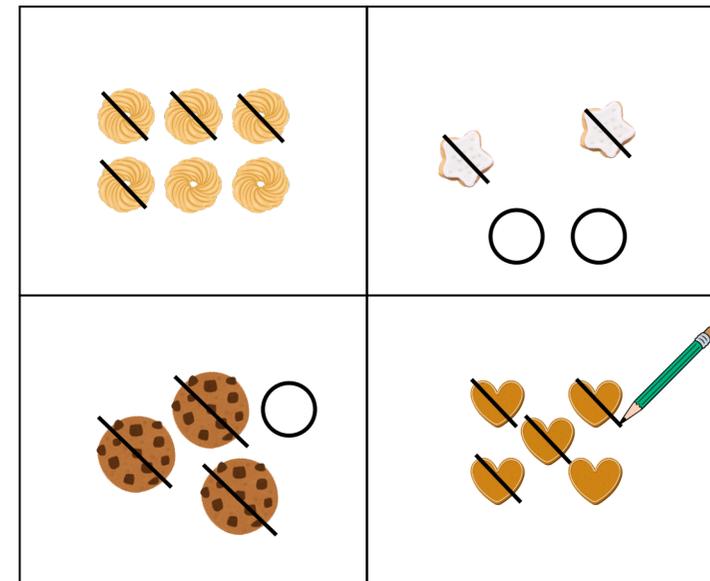
例題 サイコロの数と違う数のりんごがある部屋を選んで、丸をつけましょう。



ポイント解説 ～異数発見（2）～

こちらは、数の違いを指定された「異数発見」の問題です。例題の場合、左のクッキーが4個なので、1つ違いの数は「3個」または「5個」になります。このタイプの問題では、「数が1つ違う」というのが、1つ多いのか、1つ少ないのかがわからないため、指定された数の1つ前と1つ後の数をどちらも探す必要があります。この問題を解くためには、数唱ができることはもちろん、数の大小関係を理解している必要があります。

「1、2、3、4、・・・」と数え上げができるだけでなく、「20、19、18、・・・」と数え下げも練習して、1つ大きい数や1つ小さい数をすぐに判断できるようにしましょう。また、右のような解き方でもこのタイプの問題を解くことができ、「2つ違い」や「3つ違い」の数を探すときにも有効です。



- ①指定された数まで斜線で消しながら数える。
- ②指定された数に満たなければ、丸を描き足す。
- ③クッキーが1枚余る、または丸が1個のものは、「1つ違いの数」と判断できる。

問題29 赤と数が2つ違う色を見つけて、下の四角の中の色に丸をつけましょう。

